



フランクリンでの歓迎レセプションで、ドキドキの自己紹介

日の夜から、団員たちはそれぞれのホームステイ先で一緒に過ごしました。フランクリン市に滞在中は、中学校、高校に体験入学し、緊張しながらもアメリカの子どもたちとの交流を楽しみました。

▽1月13日―16日(同)：ワシントンDCに到着。ここでは、ホワイトハウスなど教科書やテレビでしか見たことがないような名所を見学しました。すっかり緊張も解け、気分はアメリカ人です。

▽1月17日―18日(日本時間)：無事に日本へ。東京で1泊



ホームステイ先の家族とのプレゼント交換

して疲れを癒し、久慈市に到着。待ちかねた家族や先生たちから拍手が送られました。

18日の到着式では、出迎えた山内市長が「出発のときと表情が変わりましたね。いろんなことを経験したのですね。自分の一生の財産とすることはもちろん、家族や学校の皆さんと共有してください」とねぎらいました。

派遣団による活動は、2月9日にアンバーホールで開催される「久慈市民大会&市民生涯学習のつどい」で発表されます。



ハロー！アメリカ

ハウア―ユ―、マイネームイズ―。かたことのジャパニーズ英語をひっさげて、10人の久慈っ子が海を渡りました。本年度の久慈市中高生海外派遣(団長・宇部辰喜市教委総務学事課長)は1月7日、市内の中高生10人に引率3人を加え、12日間の旅に出ました。向かう先は、「自由の国・アメリカ」。異国文化に触れ、帰ってきた10人は一回りも二回りも成長したように見えました。

(写真)後列左から、梶谷駿君(霜畑中2年)、下野翔吾君(夏井中2年)、稲田泰貴君(久慈中2年)、向井務君(侍浜中2年)、小豆嶋海生さん(長内中2年)、清水英恵さん(山形中2年)、坂本美咲さん(久慈東高2年)。前列左から、嵯峨理恵子さん(長内中教諭)、金野妃菜子さん(久慈中2年)、小倉江利子さん(大川目中2年)、山館和博さん(市教委指導主事)、宇部辰喜団長、古館由季さん(久慈高2年)。1月15日、ワシントンDCのトーマス・ジェファーソン・メモリアルにて

地道な活動を評価

ドリームズ・ブロッコリー 高畑小三郎さんが善行表彰

本市の青少年ボランティア団体「ドリームズ・ブロッコリー」(藤森和代表)が内閣府の全国善行青少年表彰を、市の少年補導委員を務める高畑小三郎さん(十八日町)が社団法人日本善行会の全国善行表彰を、それぞれ受賞しました。12月21日に山内隆文市長に受賞を報告、今後の活躍を誓いました。

ドリームズ・ブロッコリーは平成7年に結成した中学生による団体。保育園児との交流や道路沿いの花植え、5月に開催されるウイングフェスタへの協力など、青少年が地域活動を積極的に行っている

ことが評価されました。高畑さんは21年間にわたり少年補導委員を務め、青少年の健全育成と非行防止を積極的に進めたことなどが評価されたものです。

山内市長が「地域を考え、継続してきたことがすばらしい。市民に感動を与えられるものと思う」とたたえました。藤森会長(大川目中3年)は「これからは老人ホームで交流をしていきたい」、副会長の森晴菜さん(同)は「もっと多くの人に活動に参加してもらいたい」、高畑さんは「活動は、家族の協力あってこそ。受賞は、ほかの補導委員の励みになる」と、それぞれ受賞の喜びを話していました。



山内市長に受賞を報告する皆さん

▽1月7日：成田で1泊。
▽1月8日：いよいよ出発。派遣の目的は、歴史や文化の違いを体験すること。そして、本市の姉妹都市・インディアナ州フランクリン市への親善大使として、山内隆文市長の親書を届けること。機内でこれらを確認し、日本を後にしました。

▽1月8日(現地時間)：人口約300万人の大都市・イリノイ州シカゴ市に到着した派遣団は、時差ボケに苦しみながらも機敏に行動。シカゴ美術館やシアースタワーを見学。

▽1月9日―13日(同)：フランクリン市に到着。本市の姉妹都市であり、本市の名誉市民タマシ・アレン氏の故郷です。1月2日に就任したばかりのフレッド・パリス新市長やフランクリン大学、フランクリン高校、カスターベーカー中学校の先生、ホームステイ先の家族の皆さんの熱烈な歓迎を受けました。宇部団長が、山内隆文市長からパリス市長への親書を手渡し、団員たちも自己紹介や研修テーマなどを英語で堂々と発表することができました。この